

# #川アップルマラソン

二六〇名がゴールをめざす  
 十月十九日、第十八回井川アップルマラソンが今年も町民体育館前をスタート・ゴールとして行われました。  
 当日は、前日の荒れ模様から一転、晴天となり参加者や関係者を安心させました。青空の中、風はひんやりとして、ランナーにとっては走りやすいお天気がつたようです。参加者は一〇キロ十八人、五キロ四〇人、三キロには一〇一組と、二六〇人が参加しました。



10キロスタート 足に(?)覚えのある方ばかり



白川さん親子  
 父「がんばれ！」  
 息子「うん、お父さん。もうすぐゴールだね。」

## 親子六人で選手宣誓

開会式では大会会長(井川町長)のあいさつのおと、選手宣誓が行われました。選手宣誓は大瀧村から参加した榎熊学さん親子六人で、両親と子どもたち四人がそれぞれほほえましい雰囲気の中で宣誓しました。榎熊さんは昨年も参加していて、今年も家族六人、二人ずつペアになって三千キロに出場します。

スタートゴール地点が混雑することから、昨年から種目ごとにとスタートの時間を大きく開けて行われ、今年も混雑もなくスムーズに行われました。三千キロペア種目では昨年までは親子の部だったのが家族の部と改められ、十九組が出場しました。沿道では、家族や町の人達が声援を送って、ランナーを励ましておりました。

一〇キロ種目には、女性でただ一人参加したシュリンさん見事完走です。また、地元新聞出身で井川小学校の先生、渡部和朝さんは、スタートから三分でゴールに入ってきました。二位とは二分以上の差を付け、子どもたちは大喜び、拍手喝采を浴びていました。

## 第十八回井川アップルマラソン結果

10キロ		
高校生男子	一位 石川 健寿	八郎瀧町 44分36秒
二位	加藤 学斗	八郎瀧町 57分39秒
18〜39歳男子		
一位	渡部 和朝	秋田市 33分26秒
二位	菅原 大介	男鹿市 35分48秒
三位	三浦 高亮	秋田市 38分03秒
40代男子		
一位	三浦 司	秋田市 38分47秒
二位	佐々木重義	五城目町 44分02秒
50代男子		
一位	佐藤 実	五城目町 37分01秒
二位	松澤 満男	秋田市 38分13秒
三位	小原 忠夫	秋田市 38分22秒
一般女子		
一位	シリンさん	井川町 58分26秒
5キロ		
中学生男子		
一位	齊藤 昭平	井川町 19分03秒
二位	半田 理人	井川町 19分45秒
三位	伊藤 誠也	井川町 20分36秒
30代男子		
一位	金沢 元	秋田市 17分04秒
二位	内田 勝久	秋田市 23分12秒
三位	鈴木 豊	井川町 26分00秒
40代男子		
一位	鈴木 昭浩	男鹿市 17分40秒
二位	藤井 晃	秋田市 20分18秒
50代男子		
一位	三浦 辰也	男鹿市 19分31秒
二位	三村 儀光	琴丘町 19分43秒
三位	佐々木次夫	五城目町 21分25秒
60代男子		
一位	伊藤 勇一	井川町 21分49秒
二位	佐藤 紀男	天王町 22分30秒
三位	斉藤 武	秋田市 27分11秒
30歳以上女子		
一位	佐藤 恵子	天王町 22分30秒
二位	千葉 好子	仙南村 28分53秒
3キロペア		
家族		
一位	高橋幹男・隼	秋田市 10分40秒
二位	榎熊学・亜輝	大瀧村 11分54秒
三位	菅原鉄也・直史	秋田市 12分47秒
小学校1〜3年		
一位	澤石 豊・小林玲央	井川町 12分02秒
二位	伊藤善紀・高松裕貴	井川町 12分08秒
三位	斎藤崇徳・菅生侑汰	井川町 13分11秒
小学校4〜6年生		
一位	櫻庭健太・松橋大輔	井川町 10分50秒
二位	門間邦維・浅野大	井川町 10分52秒
三位	浅野幸太・小沼啓輔	井川町 11分09秒
中学生女子		
一位	松岡里子・松田渚	井川町 11分47秒
二位	北嶋 悠・鈴木智南	井川町 11分53秒
三位	鷲谷彩紀・武田歩里	井川町 12分55秒
フリー		
一位	湊 佳之	井川町 10分30秒
二位	児玉 鉄弥	秋田市 11分03秒
三位	森田真太郎	井川町 11分03秒
三位	伊藤 航	井川町 11分05秒

# 秋

## 穫れたヨ!

今年、天候不順の影響で、稲作は減収を余儀なくされました。子どもたちが体験学習として行っている学習田やサツマイモ畑の出来具合はどうだったのでしょうか。収量はさておき、青空に子どもたちの歓声が響いていました。

十月七日  
 〽️稲刈り???

井川小学校では、体験農業活動として五年生六三名による稲刈りを行いました。  
 今年は、収穫時になって雨も降ったりしてすっきりしない天気が続いていましたが、この日は朝から晴れ渡り、絶好の稲刈り日和。でも田んぼはぬかるんで、子どもたちは思うように動きが取れません。  
 農業委員の方から稲の刈り方や刈り取った稲を束ねる方法杭にかける方法などを教えていただきましたが、長靴が泥から抜けず四苦八苦。長靴の内も外もトレパンもどろんこ。それでも「たのしい」「おもしろい」を連発。青空の下、元気な歓声が上がっていました。



どこまでも続く青空。稲刈もたのしい?

十月十八日  
 〽️大きな芋あったヨ

〽️コミュニティセンター(施田地区)では、子どもたちが芋掘りを行いました。子どもたちを支援しようと地区の大人も集まり、総勢三十八名。  
 小雨がばらついてお天気が心配されましたが、みんなが集まる頃には晴れ上がって、サツマイモ畑も良好です。今年はお出来が良くないといわれたサツマイモでしたが、子どもたちは雨が降らない日は毎日水をやり、雨続きの時は、シートで覆い、手入れが良かったからでしょうか。収量も予想を上回り、みんなニコニコ顔で掘る作業を行いました。



十月二十日  
 〽️畑はぐちゃぐちゃ

〽️子どもセンター  
 予定していた日が雨のため延期になっていた子どもセンターの芋掘りを、二十日翠香苑と合同で行いました。  
 当日は晴天でしたが、前日からの雨で、サツマイモ畑はぐちゃぐちゃ。移植ペラを手に長靴をはいた子どもたちは、芋掘りというよりは、畑の土との格闘です。空の青さとは対照的な畑のぬかるみで、子どもたちはどろんこです。先生達はおいしい焼き芋にしようと、オガライトを焚いて待ちかまえています。なかなか芋は焼けません。今年にはサツマイモが育つ頃雨続きだったためか、多くの収量はありませんでした。それでもみんな分けて合って、おいしくいただきました。



大きいイモ穫れたヨ